



飛鳥川上坐宇須多岐比売命神社の拝殿 明日香村で



飛鳥川上坐宇須多岐比売命神社 (明日香村)

(住所) 明日香村稲淵698
 (祭神) 宇須多岐比売命、神功皇后
 応神天皇
 (交通) 近鉄飛鳥駅などから奈良交

通赤かめバス石舞台バス停
 下車奥飛鳥方面徒歩40分
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) (電話) なし



日本一長い名前の飛鳥川上坐宇須多岐比売命神社は、飛鳥川をさかの

階段200段 丘陵中腹に鎮座

ぼり、稲淵の集落を過ぎた丘陵中腹に鎮座します。

明治時代より入谷、畑、稲淵、栢森の氏神で、延喜式内社です。

約200段の階段を登り切ると正面に拝殿、左方に八幡神社、右方に神功皇后社がありますが、

本殿はなく、拝殿後方の南淵山をご神体とする原始信仰の形が残ります。

主祭神の宇須多岐比売命は福岡県の宗像大社にまつられる三女神の一

つ、湍津姫命の別名で、当社の南、栢森に位置する神社の祭神、加夜奈留美命の母と伝わりま

す。馬が残り、当社のものは「本なもで」と称されま

日本書紀によれば、642(皇極元)年に皇極天皇は「南淵の河上」で雨乞いの祭礼を行っています。その場所が当社あたりともいわれます。

江戸前期〜明治末の奈良盆地の雨乞い行事「なもで踊り」は、多くの神社にその様子を記した絵社で行われました。

地元では古くから宇佐八幡と称され、境内には1553(天文22)年の稲淵宇佐八幡の銘を持つ湯釜があります。

(奈良まほろばソムリエの会会員 田村基樹)